

2019年6月 中村 忠氏、2021年12月 江崎 浩司氏、そして2023年2月 金子 浩氏。音楽界にあまりにも辛い別れが訪れました。

かつて日本人は「かなし」を「悲し」とだけでなく「愛し」あるいは「美し」とすら書いて「かなし」と読ませたといいます。突然の出来事に一時は悲しみ方さえ見失った私たちも、数年をかけ少しずつ愛しみを共に語らう場を持ちたいと願うに至りました。

師弟、友人、仲間…築いた関係はさまざまであっても、そこに今も息づく言語は“音楽”ただひとつです。それぞれの内に在る三氏と彼らに心寄せる人たちに美しい時が刻まれますように。

発起人一同

中村 忠

2019年6月28日逝去、享年58歳。フラウト・トラヴェルソ奏者。桐朋学園大学卒業。特にフランスバロック音楽の演奏に秀でる。エマヌエル・バッハの研究・演奏にも力を注いだほか、バッハのマタイ・ヨハネ両受難曲でのオブリガート演奏は多くの人々の記憶に刻まれる名演を残し続けた。料理や文学などを嗜む多才な文化人でもあり、多数の後輩やさまざまな交友関係を大切に築き上げた。

江崎 浩司

2021年12月15日逝去、享年50歳。リコーダー、バロック・オーボエ、バロック・ファゴット、サクソ奏者。作曲編曲家、脚本家。桐朋学園大学卒業。中世の民族楽器の演奏からジャズに至るまで、幅広いジャンルで活躍。作曲も含めてその活動範囲は極めて広い。リコーダー音楽の集大成、V.エイク「笛の楽園」全150曲の収録を終えた。「ラ・フォンテーヌ」「タブラトゥーラ」のメンバーとしても数多くの公演を重ねた。

金子 浩

2023年2月25日逝去、享年58歳。リュート、バロック・ギター奏者。桐朋学園大学卒業。デン・ハーグ王立音楽院にてディプロマを取得。ブルージュ国際古楽コンクール入選。オランダや日本国内において多くの演奏会に参加。ソリストとしてはもちろん、通奏低音奏者としても公演を重ね、その暖かい人柄が器楽・声楽の多数の共演者から愛され続けていた。

<第1部プログラム>

生稲 雅威(サクバット)

J.ファン エイク：「涙のパヴァーヌ」「イギリスのナイチンゲール」

加賀 才盛(チェンバロ)

J.J.フローベルガー：組曲第20番 二長調

新林 俊哉(フルート、ヴォイス・フルート) 水谷 定徳(フルート)

M.P.モンテクレール：2本のフルートのためのコンセル第6番より

河野 優子(ソプラノ) 稲葉 由紀(フルート)

田崎 瑞博(チェロ) 能登 伊津子(チェンバロ)

J.S.バッハ：

カンタータ第96番 レチタティーヴォ

「ああ、わたしを導いてください、おお神よ、正しい道へと」

カンタータ第82番 アリア「まどろめ、疲れた眼よ」

アンサンブル・ブロックフレーテ OITA

あひる選手：丸尾 千鶴子 渡邊 美恵子 藤澤 里恵 洗 裕子

森 綾香 稲葉 由紀 平野 智美 田崎 瑞博

うぐいす(リコーダー)：国枝 俊太郎 キーボード：能登 伊津子

ナレーター：竹中 知子

江崎 浩司 脚本・作曲・演出

創作音楽劇「あひる競詩曲(ラブソディ)」

清野 由紀子(フルート) 水谷 定徳(フルート)

G.P.テレマン：2本のフルートのための9つのソナタ集
第7番 口短調

西野 潤一(リュート) 赤坂 泰志(リコーダー)

鈴木 忠(ファゴット)

A.ヴィヴァルディ：リコーダーとファゴット、
通奏低音のためのトリオ イ短調 RV.86

松岡 麻耶(アルト) 田崎 瑞博(チェロ)

能登 伊津子(チェンバロ)

H.パーセル：「運命の時が迫ってくる」

「麗しの島」「私を安息の暗闇に導いておくれ」

ルーテル市ヶ谷ホール

新宿区市谷砂土原町 1-1

JR「市ヶ谷駅」地上出口 徒歩7分

東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷駅」5,6番出口 徒歩2分

